

●表紙イラスト
鶴田一郎 (1954年 本渡市生まれ)

表紙のことば
今回は雪の水前寺公園をイメージして画してみました。メ切に又も遅れてしまい、あわてふためいていたそんな時、テレビから阿蘇に初雪が降ったとのニュースが流れてきました。今年の冬は寒くなるそうですがもしかしたら、こんな景色も見られるかもしれませんね。

●シーン'88撮影 (熊野郡河内町にて)

神原陽一
有明海でノリの摘み取りが始まると、もう冬。静かな海を、小船が影絵のように行き来していました。

編集後記

「タウンギャラリー」をご覧になりましたか。八代本町アーケード街で行われた県民文化祭のイベント。何しろ、あらゆるお店に絵が飾ってあるのです。魚屋さん、八百屋さん、文具屋さんにブティック……etc. まさに街角美術館。できるなら年中、とまではないにせよ、恒例化できたらと思っていました。

「日本一長い美術館」八代・タウンギャラリーに全国から人と作品が集まる、なんて素敵ですよ。

ふるさと紀行で紹介した八千代座が国の重要文化財に―という嬉しいニュースが届きました。

11月5日に、16年ぶりに上演された演劇が、大盛況。1日中拍手と笑い声が響いた八千代座ですが、それに続いてこのビッグニュースに「こうなったら八千代座と心中するつもりで……」と復興への想いを語ってくれた、幸さんの笑顔が見えるような気がしました。

今回の特集「ディスクカバーくまもと」いかがでしたか。この制作にあたっては、郷土史家の鈴木喬先生のアドバイスをいただきました。

“くまもとの風”愛読者募集

本誌の年間購読を希望される方は、1年分の郵送料1,440円(240円×6回)分の切手を同封のうえ、下記へお申し込み下さい。(随時受け付けます)

〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号
熊本県広報課「くまもとの風」係

CONTENTS

1-4	特集 ディスクカバーくまもと
5-6	風のコンパス
7-8	30minutesトークキング～葉祥明さん～
9-10	ステップ・アップKUMAMOTO ～日本一周列車～
11-12	県庁探検隊～第4回食品加工研究所～
13-14	シーン'88
15-16	ふるさと紀行～山鹿市八千代座～
17-18	びーぶる ～産山私設天文台トラベジウム 井手義典さん～
19-20	ウォッチング元気図鑑～天水町～
21-22	ひのくに偉人伝～細川重賢～
23-24	Information
25	街角便り
26	メディアMIX～TKU～



●広報メディアMIX

こんにちは！レポーターの勝田麻吏江です。10月29日。今日の収録は、特番『文化の鼓動―県民文化祭・八代』の「伝統・玩具遊びの広場」。竹細工や折り紙・お手玉など伝統的な遊びを子供たちに伝えていこうというものです。

「今、何をつくっているの」。マイクを向けると、少しはにかむ子もいれば、はしゃぐ子もいます。テレビカメラは、子供たちの生の表情をキャッチ。テレビは、全然ゴマカシが利かない代わりに、ありのままの姿を見ることが出来ます。どの町や村も今のままで十分すばらしいし、未完成な部分があれば、そこを映して地元の人に再認識して頂ければいい。それで町に勢いがつけばいいなと思っています。今回の特番にしても、八代に勢いがつけば、それ以上すばらしいことはありませんよ。

今回は、特番で県民文化祭の取材にやってきましたが、文化に携わるいろんな人々の表情を見て素敵だなと思いました。そして、この番組が八代の伝統文化を少しずつでも広めていくきっかけになればいいなと思っています。

TKU制作部 勝田麻吏江

その土地、そのままの笑顔をお届けします。



ところで、レギュラーの「フラッシュくまもと」も負けてはられません。土曜のお昼の放送なので、難しいことは抜きにして、子供たちが関心を持って見てもらえるような柔らかいタッチにしていきたいと思っています。夢は、趣味のスキューバダイビングを生かして、熊本の海の中を子供たちに紹介すること。「君たちの住んでいる熊本は、こんなにきれいなんだよ」ってね。特番同様、こちらの方もヨロシクお願いします。番組のご感想もどんどんお聞かせ下さいね。



- 「文化の鼓動―県民文化祭・八代」
TKU……11月19日・22日(再放送)
- 「フラッシュくまもと」
TKU……毎週土曜日 12:55～13:00



「サンパウロだより」 宮村季光 (在伯熊本県人会会長)



熊本県の皆さん、お元気ですか。いつも「くまもとの風」をお送りいただき有難うございます。郷土の目ざましい発展ぶりや日本一づくり運動など、毎回楽しみに読んでいます。在伯熊本県人会は、サンパウロ市に本部を置き、各地に23の支部、8万人の会員を擁するブラジル日系社会でも有数の組織に成長し、皆熊本県出身者であることを誇りに思っています。

今年、ブラジル移住80周年。私達一世が元気なうちに、日本の文化や伝統を二世・三世にきちんと継承する一方、県費留学生や、技術研修員の派遣などを通して、若者同士の日伯交流にも力を入れたいと思っています。

「熊本城周辺」 木村妙子 (40才団体職員/熊本市)

土曜日の午後、久しぶりに県伝統工芸館から県立美術館へと足を運んでみました。伝統工芸館では県内陶芸家の作品展示販売が行なわれ、手作りによる土の持つ暖かさに心なごも思いました。時折吹く風に秋を感じながら二の丸公園へ。家族連れやカップル・グループが、それぞれ晴天の秋空の木陰で弁当を広げていました。安らぎのひとつ。美術館では近代美術の展示が催され、心に残った絵の葉書を数枚求め帰路につきました。帰宅して絵葉書の二枚を額に入れて飾りました。そして誰と誰に便りをとを考えながら、県陶芸家の作品に、コーヒーを入れ喉を潤す。住んでいる者の実感として、熊本の良さを県外に住む妹や友人・知人に伝えたいなとつくづく思う一日でした。



▲風テレホンカード

お便り募集!

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を二百～四百字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風テレホンカード」をプレゼント)

●あて先

〒862 熊本市水前寺6丁目18-1
熊本県広報課「くまもとの風」係

たくさんのお便りをお待ちしています。

HOTLINE

街角便り

「思いやり」 浜田美枝子 (39才主婦/三角町)

過日、鉄眼師の偉業を称える催し物で、私は、テープカットのはさみをお渡しする役とお茶会のお点煎を引き受けていました。早朝から着物を着て緊張した思いで車を走らせている道中、突然「バーン」という炸裂音と同時にフロントガラスがメチャメチャになって「バラバラ」と砕け散ったのです。その時のショック!一瞬何が起きたのかわかりませんでした。三号線の通勤ラッシュ時のこと、もし急ブレーキをかけていたなら……。一人ではどうしようもなく通行中の車に助けを求めました。幾分か通過する中で若い男性の車がサッと近寄り、自分の名刺を出して私の住所・氏名を聞き「後は僕にまかせて下さい。」と言ってタクシーを呼んで下さいました。おかげで大切な役目を無事果たすことができたのです。お茶会が終って名刺の青年に連絡をとると、ちゃんと車は元通りになっていました。見ず知らずの他人に示してくれた彼の臨機応変の処置に私は胸が熱くなる思いでした。私にも高二の息子がいます。野球部で心身共に鍛えられ、青春を燃焼しています。こんな思いやりのある青年になってほしいとグラウンドの片隅で一部始終を話して聞かせました。

「秋の休日」 吉岡吾郎 (46才/芦北町)

子供にせがまれて、日曜日に行った三井グリーンランドでのスナック。

